

活性炭再生業務

1. 一般概要

施設で発生する使用済みの活性炭を再生する業務である。

2. 設計指針・内容

別紙のとおり

3. 提出書類

業務完了後、下記の書類を提出すること

- ①活性炭再生結果報告書
- ②活性炭分析結果報告書(炭種、形状、粒度など記載されたもの)
- ③使用済活性炭、再生炭の計量証明書
- ④業務完了写真

設計指針・内容

1. 使用用途

水処理用（高度処理設備・活性炭吸着塔用）

2. 再生する活性炭について

当施設の水処理で使用したもの。

3. 再生予定数量

年間活性炭予定使用量 10,000 kg

年間再生予定数量 5,000 kg

※1 再生炭仕上げ重量（乾燥重量）

※2 1回の搬出量は請負者が手配するトラックに積載可能な数量とする。

※3 搬出荷姿は1 m³フレコン入り使用済み活性炭（1袋約0.6 t）

4. 搬入・搬出

①受託者は積荷の上げ卸しについては、安全対策を講じ、フォークリフトを使用する場合は、フォークリフト運転技能講習終了資格者が運転のうえ、実施すること。

②運搬については、全て受託者の負担とする。

5. 納入荷姿

200 kgフレコンバックで下部から取り出し可能なもの。

6. 納期

施設の運転に支障が出ないよう計画的に納入すること。

7. 再生炭の規格

再生炭については、PH調整品（ウェット炭）とする。

炭 種	石炭系
形 状	破碎状
粒 度 [mm, () 内はメッシュ] 0.50(32)～2.36(8)	90%以上
充てん密度 [g/ml]	0.45～0.55
P H 値	6～8 (PH 調整品)
メチレンブルー吸着性能 [ml/g]	150 以上
よう素吸着性能 [mg/g]	850 以上

8. その他

- ① 再生による活性炭の減量分は別途補充すること。（新炭・再生炭は問わないが、再生炭の場合は「7. 再生炭の規格」に適合するものであることとする。）
- ② 再生炭は8～32メッシュのふるいにかけること。
- ③ 使用済活性炭数量、再生済活性炭の数量を明らかにし再生率、分析表をまとめた活性炭再生報告書を提出すること。